

指導と評価の年間計画（2008・H20年度）

教科	科目	開設学年	単位数	教材名等
数学	数学探究	3	2	シニア数学演習ⅠⅡAB

到達目標	様々な問題の演習を通じて、これまで各科目で学んだ知識と、より専門的な数学とのつながりを考え、より一層理解を深める。
到達目標に向けての具体的な取り組み 【指導上の】留意点	基本的な公式、考え方を復習した上で、複雑な問題を自力で解きながら理解を深める。

月	進度（単元・章・項）	指導内容（項目／活動）	評価方法等	評価のポイント
4 5 6 7	数と式 2次関数 三角関数 指数・対数関数 数列 図形と領域	基本的な公式、基本的な考え方を身に付け、2学期以降の専門的な内容を学習する準備をする。	・練習プリントの内容 ・授業への取り組み意欲 ・テスト	基本的な計算ができるようになったかどうか。 解き方に工夫が見られるかどうか。
8 9 10 11 12	・極限、微分・積分と解析学 ・ベクトル・行列と代数学 ・実数と複素数 ・確率、場合の数と確率空間 ・集合と論理 ・証明問題	入試問題を解きながら、その背後にある専門的な数学について研究していき、数学の奥深さを味わう。さらに、各自の興味ある分野について研究・発表する。	・レポートを出させる。 ・発表の内容、仕方を評価していく。 ・テスト	発表に対する姿勢・内容の仕方、分かりやすさ。 レポートの内容と取り組む姿勢はどうか。 数学的な思考ができるようになったかどうか。
1 2	総合演習	1，2学期やった内容について問題演習を行い、理解を深める。	・レポート ・テスト	1，2学期やったことが身に付き、専門的な数学に取り組めるようになったかどうか。